

まち Topics トピックス

景観協定第1号

5月19日、市役所で、「金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定」の認定式が行われ、鈴木市長から阿部治郎金屋町町内会長に認定証が交付されました。この協定は、美しい谷津田川と歴史・文化・緑ある周辺環境との調和した街並み景観を、将来にわたって維持・保全していくことを目的に、協定区域内の土地及び建築物の所有者全員によって締結されています。



関の森公園に花木が寄贈

5月6日、白河フラワーワールド（和知繁蔵社長）から、関の森公園へ、けやきの木6本が寄贈されました。公園内わんぱく広場では、けやきの木を植えたことで、遊具で遊ぶ子どもたちを、保護者の方が日差しをよけながら安心して見守ることができます。また、渡辺幸子様（東釜子）から、アジサイ・雪柳の苗木各25本、ムスカリの苗500本が寄贈されました。



けやきを植えるため運ぶ様子



昭和の街並みを再現

4月29日、大工町から向新蔵まで約800メートルにわたって、昭和の街並みを再現した、「大昭和祭り」が開かれました。通りでは、ちんどん屋の列がにぎやかに通過したり、バナナのたたき売りが行われていました。

また、クラシックカーの展示、紙芝居、ベゴマ遊びなどのコーナーが設けられ、訪れた人々は懐かしい昭和の風情を楽しんでいました。



「質の高い学びの場」を提供

5月15日、白河地域職業訓練センター（中田）で、福島大学白河サテライト教室が開講しました。今年度の前期講座は、西川和明教授が、ベストセラーの「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」をテキストに「プロジェクト・マネジメント」についての講義を行っています。教室は年に2回開催しており、次回は秋に開催予定です。



白河とフランスの交流

5月11日から13日までの3日間、石川県金沢市で、第2回日仏自治体交流会議が開催されました。

この会議は、平成20年に日仏修好150年を記念して初めてフランス・ナンシー市で開催され、今回が2回目となります。会議では、「地方ガバナンスと持続可能な発展」をテーマとして、文化・経済・環境・社会の4分科会に分かれて話し合いました。鈴木市長は、本市で実施している地域経済活性化の取り組みを経済分科会で報告しました。

また、姉妹都市であるコンピエーニュ市も会議に参加しており、今回の会議でさらに交流を深めました。次回の日仏自治体交流会議は平成24年秋にフランスで開催される予定で、コンピエーニュ市も会場となります。

文化遺産を巡るツアー

5月1日、4月17日に雪で延期になった「ぐるり白河文化遺産ツアー」が開催されました。今回は、「桜と歴史」をテーマに開催しましたが、春寒の気候が続いたため、満開の桜を楽しむことができませんでした。

参加者は、市内の寺院・教会など16か所を巡りながら、文化遺産の魅力を再発見し、充実した1日を過ごしました。



右から湯田町長、阿部会津署長、鈴木市長、七白河署長、佐藤村長、島南

白河・下郷・西郷の地域安全協定締結

4月28日、市役所で、白河市・下郷町及び西郷村による「地域間地域安全協定締結式」が行われました。この協定は、犯罪や事件・事故等の防止活動の協力・連携体制を確立することを目的としたもので、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、鈴木市長、湯田雄二町長、佐藤正博村長が白河警察署長及び南会津警察署長立ち会いのもと、協定書に署名しました。